

館外イベント 2013 年度

平和祈念展示資料館

2013年度

2014年1月28日

平成25年度の館外イベントはすべて終了しました。
これらのイベントの様子は、当ウェブサイトの[レポートページ](#)でご覧いただけます。

2013年11月26日

平和祈念展 in 鳥取

日時：平成26年1月22日(水)～1月26日(日) 午前9時30分～午後6時30分(最終日は午後5時まで)
会場：とりぎん文化会館 1階 展示室



2013年11月12日

「平和祈念フォーラム in 新宿」テレビ放送

平和祈念展示資料館では、11月9日(土)に新宿住友ビル地下1階住友ホールで行われた「平和祈念フォーラム in 新宿～戦争体験者から高校生へ～」の様子を番組としてテレビ放送します。

放送日時:平成25年12月1日(日) 午後8時～8時30分

放送局:テレビ埼玉、千葉テレビ放送



2013年10月24日

平和祈念展 in 甲府

日時：平成25年12月21日(土)～12月25日(水) 午前9時30分～午後6時30分(初日は午前12時から、最終日は午後5時まで)

会場：山梨県立図書館 1階 イベントスペース



2013年10月22日

平和祈念交流展 in 予科練平和記念館

「抑留画家 早田貫一と従軍カメラマン 小柳次一」

日時：平成25年11月6日(水)～12月15日(日) 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

会場：予科練平和祈念館 20世紀ホール



2013年10月1日

平和祈念フォーラム in 新宿

日時：平成25年11月9日(土) 午後2時～午後4時15分(開場 午後1時30分)

会場：新宿住友ビル 住友ホール



2013年9月27日

平和祈念展 in 奈良

日時：平成25年12月3日(火)～12月8日(日) 午前9時～午後8時

会場：奈良県立図書情報館 2階 メインエントランス



2013年8月27日

平和祈念展 in 福井

日時：平成25年10月30日(水)～11月4日(月) 午前9時30分～午後6時30分(最終日は午後5時まで)

会場：福井市地域交流プラザ (AOSSA内) 5階 ギャラリー



2013年8月5日

平和祈念展 in 熊本

日時：平成25年10月10日(木)～10月14日(月) 午前9時30分～午後6時30分 (最終日は午後5時まで)

会場：桜の馬場 城彩苑 総合観光案内所 2階 多目的交流室



2013年8月2日

「子ども霞が関見学デー」に出展

日時：平成25年8月7日(水)・8日(木) 午前10時～午後3時

会場：中央合同庁舎2号館 講堂(地下2階)

受付：中央合同庁舎2号館1階ロビー



2013年7月24日

特別イベント「シベリア抑留を描くー二人の画家展」

日時：平成25年9月12日(木)～9月16日(月・祝) 午前10時～午後5時30分

会場：九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー



2013年7月17日

夏休み3館めぐりスタンプラリー

期間：平成25年7月20日(土)～9月1日(日)

場所：昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館



2013年7月12日

「さいたま市平和展」に出展協力

日時：平成25年8月24日(土) 午後1時～午後5時／
8月25日(日) 午前9時30分～午後6時30分

会場：さいたま市プラザノース 多目的ルーム



2013年6月5日

平和祈念展 in 新宿

日時：平成25年8月9日（金）～8月14日（水）午前
9時～午後7時（最終日は午後4時まで）

会場：新宿駅西口広場イベントコーナーA1・B1ゾー
ン



2013年5月16日

平和祈念展 in 前橋

日時：平成25年7月11日（木）～7月15日（月）午
前9時30分～午後6時30分（最終日は午後5時まで）

会場：前橋プラザ元気21 1階 にぎわいホール



2013年4月25日

平和祈念展 in 青森

日時：平成25年6月26日（水）～6月30日（日）午
前9時30分～午後6時30分（最終日は午後5時まで）

会場：青森市文化観光交流施設「ねぶたの家 ワ・
ラッセ」2階 多目的室1・2



平和祈念展 in 青森

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の
方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いで
いくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示し
ます。

日 時 平成25年6月26日（水）～6月30日（日）
午前9時30分～午後6時30分
（最終日は午後5時まで）

会 場 青森市文化観光交流施設「ねぶたの家 ワ・ラッセ」2
階 多目的室1・2
青森県青森市安方1-1-1

入場料 無料

後 援 青森県／青森県教育委員会／青森市／青森市教育委員会

出展数 約160点

平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記
憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 青森」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース



平和祈念展 in 青森チラシ

Copyright © 平和祈念展示資料館

平和祈念展 in 前橋

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の
方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いで
いくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示し
ます。

日 時 平成25年7月11日（木）～7月15日（月）
午前9時30分～午後6時30分
（最終日は午後5時まで）

会 場 前橋プラザ元気21 1階 にぎわいホール
群馬県前橋市本町2-12-1

入場料 無料

後 援 群馬県／群馬県教育委員会／前橋市／前橋市教育委員
会

出展数 約170点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 前橋」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真のほか、群馬県出身の漫画家・斎藤邦雄氏の絵画も展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

高崎連隊の兵営生活－斎藤邦雄の世界－

自らの戦争体験を漫画に描いた斎藤氏の作品群の中から、高崎連隊に関する作品を紹介します。

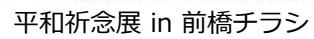
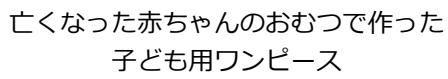
※右の絵は「名も高崎のわが部隊」



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



平和祈念展 in 新宿

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の
方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いで
いくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示し
ます。

日 時 平成25年8月9日（金）～8月14日（水）
午前9時～午後7時
（最終日は午後4時まで）

会 場 新宿駅西口広場イベントコーナーA1・B1ゾーン
東京都新宿区西新宿1丁目地先

入場料 無料

後 援 東京都／新宿区／新宿区教育委員会

出展数 約160点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 新宿」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース

「さいたま市平和展」に出展協力

この度、平和祈念展示資料館は、さいたま市が主催する「さいたま市平和展」に出展協力し、特別プログラム・展示を実施します。

当資料館からは、「平和の礎」の朗読やトークイベント、漫画家が戦争体験をもとに描いた作品の展示などを行います。

日 時	8月24日（土）午後1時～午後5時 8月25日（日）午前10時～午後3時
会 場	さいたま市プラザノース 多目的ルーム 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目852-1
入場料	無料
主 催	さいたま市
協 力	平和祈念展示資料館

お問い合わせ さいたま市 総務局総務部総務課
TEL:048-829-1083



◎出展協力による特別プログラム・展示

- テレビ局アナウンサーによる労苦体験手記の朗読
- 当資料館が企画監修したテレビ番組「記憶のリレー～戦争体験をつなぐ課外授業～」の出演者によるトークイベント
- 『漫画家・斎藤邦雄が描いた戦後強制抑留』作品展示
- 漫画家 上田トシコ氏、ちばてつや氏、森田拳次氏、山内ジョージ氏、山口太一氏が、引揚げ体験をもとに描いた作品展示

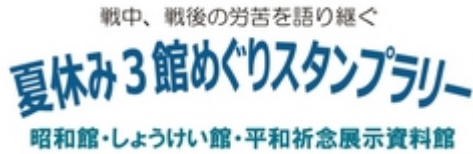
「さいたま市平和展」の情報は[こちら](#)

夏休み3館めぐりスタンプラリー

戦中、戦後の労苦を語り継ぐ

平和祈念展示資料館では、夏休みにあわせ「夏休み3館めぐりスタンプラリー」を実施します。

戦中、戦後の労苦を語り継ぐ「昭和館」「しょうけい館」「平和祈念展示資料館」の3つの館をめぐって、オリジナルグッズを手に入れましょう。（先着1000名）



期 間：平成25年7月20日（土）～9月1日（日）

場 所：昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館

参加方法：いずれかの館でスタンプラリーの台紙を受け取り、3つの館のスタンプを集めて、最後の館でオリジナルグッズと交換してください。

昭和館の情報は[こちら](#)

しょうけい館の情報は[こちら](#)

特別イベント「シベリア抑留を描く－二人の画家展」

平和祈念展示資料館は、この度、特別イベントとして、九段生涯学習館 九段ギャラリーにて「シベリア抑留を描く－二人の画家展」を開催します。

シベリア抑留体験者である佐藤清氏と関豊氏のお二人が労苦体験をもとに描いた油彩画作品23点を紹介します。

日 時 平成25年9月12日（木）～9月16日（月・祝）
午前10時～午後5時30分

会 場 九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー
東京都千代田区九段南1丁目5-10

入場料 無料

協 力 昭和館・しょうけい館



■ ■ ギャラリートーク ■ ■

佐藤清氏、関恵子氏(関豊氏の長女)を招き、ギャラリートークを実施します。
当時の体験や思い出、作品にまつわるエピソードなどをお話いただきます。

日時：9月14日（土）午後2時～（約30分）

■ ■ 昭和館、しょうけい館との連携企画 ■ ■

今回のイベントに合わせて、昭和館では当時のニュース映画を、しょうけい館では体験者証言映像の上映などを行います。

昭和館の情報は[こちら](#)

しょうけい館の情報は[こちら](#)



【佐藤清(さとうきよし)氏プロフィール】

大正14(1925)年、福島県生まれ。

昭和19(1944)年に召集され、満州(現・中国東北部)へ。

昭和20(1945)年、シベリアに抑留され、昭和22(1947)年に復員。

昭和30(1955)年、武蔵野美術学校にて西洋絵画を学ぶ。

昭和61(1986)年5月に刊行した『シベリア虜囚の祈り』で、第7回日本文芸大賞を受賞。

※画像は《拾ひもの》佐藤清



【関豊(せきゆたか)氏プロフィール】

大正8(1919)年、茨城県生まれ。

昭和16(1941)年、東京美術学校を卒業。

昭和17(1942)年に召集され、満州(現・中国東北部)へ。

昭和20(1945)年、シベリアに抑留され、昭和23(1948)年に復員。

平成11(1999)年、シベリア参紀行文『われもこう』を出版。

平成12(2000)年没。

※画像は《ノルマに追われて》関豊

「子ども霞が関見学デー」に出展

総務省委託の平和祈念展示資料館は、24府省庁等が参加する「子ども霞が関見学デー」に出展し、当資料館の紹介展示を行います。

日 時 平成25年8月7日(水)・8日(木)
午前10時～午後3時

会 場 中央合同庁舎 講堂(地下2階)
東京都千代田区霞が関2-1-2

入場料 無料

主 催 文部科学省



■■紹介展示■■

「平和祈念展示資料館ってどんなところだろう？」

当資料館の紹介展示のほか、「マンガにみる引揚げ体験」として、森田拳次さんとちばてつやさんのイラストパネルを展示します。

「子ども霞が関見学デー」の情報は[こちら](#)

平和祈念展 in 熊本

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の
方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いで
いくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示し
ます。

日 時 平成25年10月10日(木)～10月14日(月)
午前9時30分～午後6時30分
(最終日は午後5時まで)

会 場 桜の馬場 城彩苑 総合観光案内所 2階 多目的交流室
熊本県熊本市中央区二の丸1-1-3

入場料 無料

後 援 熊本県／熊本県教育委員会／熊本市／熊本市教育委員
会

協 力 昭和館／しょうけい館

出展数 約130点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 熊本」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真のほか、小柳次一氏が撮影した義烈空挺隊の写真を紹介しします。

主な展示内容

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

熊本陸軍飛行場と義烈空挺隊－従軍カメラマン・小柳次一写真展－

小柳次一氏は、昭和13（1938）年から約8年間、陸軍専属のカメラマンとして、兵士のありのままの姿にこだわり、写真を撮り続けました。陸軍に提出したネガやプリントは、終戦直後に処分されましたが、小柳氏が自宅で保管していたために焼却をまぬがれた写真がありました。

小柳氏が撮影した写真の中から、昭和20（1945）年5月に熊本陸軍飛行場から出撃した義烈空挺隊の写真を紹介しします。

※右の写真は「それぞれの故郷の方角に向かって最後の別れを告げる義烈空挺隊員」



連携開催 昭和館 巡回特別企画展「伝えたい『戦中・戦後』の暮らし」

昭和館主催の巡回特別企画展「伝えたい『戦中・戦後』の暮らし」が近くの会場で開催されます。

日 時：平成25年10月2日（水）～10月14日（月）
午前9時30分～午後6時30分（土・日・祝は午後5時15分まで）

会 場：熊本県立美術館分館 展示室3
熊本市中央区千葉城町2-18

入場料：無料

詳しくは[こちら](#)



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース



平和祈念展 in 福井

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の
方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いで
いくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示し
ます。

日 時 平成25年10月30日(水)～11月4日(月)
午前9時30分～午後6時30分（最終日は午後5時まで）

会 場 福井市地域交流プラザ（AOSSA内）5階ギャラリー
福井県福井市手寄1-4-1

入場料 無料

後 援 福井県／福井県教育委員会／福井市／福井市教育委員
会

出展数 約160点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記
憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 福井」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース

平和祈念展 in 奈良

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

日 時 平成25年12月3日(火)～12月8日(日)
午前9時～午後8時

会 場 奈良県立図書情報館 2階 メインエントランス
奈良県奈良市大安寺西1-1000

入場料 無料

後 援 奈良県／奈良県教育委員会／奈良市／奈良市教育委員会

協 力 奈良県立図書情報館

出展数 約160点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 奈良」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など



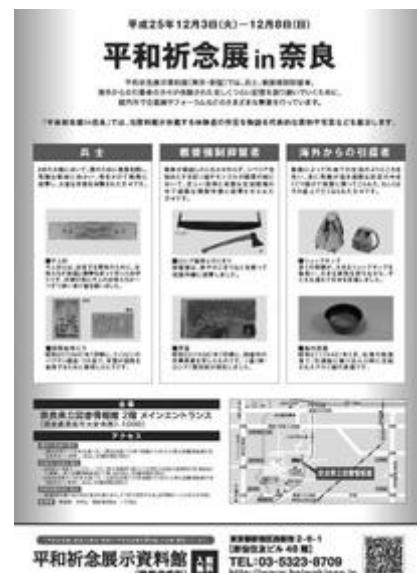
臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース



平和祈念フォーラム in 新宿

戦争体験者から高校生へ

あなたは戦争が終わってからも、苦しくつらい体験をした人たちがいることを知っていますか？

平和祈念展示資料館では、"証言で知る 戦後の労苦体験"として、演劇部や放送部の現役高校生が、戦後の労苦体験を綴った手記の朗読や、体験者との意見交換を行う「平和祈念フォーラム in 新宿」を開催します。

多くの若い世代に参加してもらい、体験者の労苦について、知り、理解を深める機会となれば幸いです。

平和祈念フォーラム in 新宿は開催終了いたしました。



概要

日時	平成25年11月9日（土） 午後2時～午後4時15分(開場 午後1時30分)
会場	新宿住友ビル 住友ホール 新宿駅西口改札を都庁方面へ徒歩約10分
参加無料 参加ご希望の方は事前にお申込みください。	
定員	150名
申込締切	定員になり次第、受付を終了させていただきます。
協力	高校生新聞／テレビ埼玉／千葉テレビ放送

プログラム

第1部	現役高校生による、労苦体験手記「平和の礎」から5作品の朗読
第2部	戦後の労苦体験者と高校生のディスカッション
進行	波多江良一(テレビ埼玉アナウンサー) 西田朱里(千葉テレビ放送アナウンサー)

お申込み・お問い合わせ

平和祈念展示資料館（総務省委託）

平和祈念フォーラム係

TEL：050-3803-9238 FAX：050-3803-9239

e-mail: forum@heiwakinen.jp

電話による受付は午前10時より午後6時まで（土・日・祝日除く）

平和祈念交流展 in 予科練平和記念館

「抑留画家 早田貫一と従軍カメラマン 小柳次一」

平和祈念展示資料館は、さきの大戦における、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦を伝えていくための事業のひとつとして、他館と連携した平和祈念交流展を実施しています。

この度は、予科練平和記念館と連携し、抑留画家・早田貫一氏と、従軍カメラマン・小柳次一氏をとり上げた平和祈念交流展を開催します。

二人の作品を通して、戦争体験者の労苦について理解を深めていただければ幸いです。

また、今回の展示に合わせて、予科練平和記念館が公開している、日本工房で小柳氏と同時期を過ごした写真家、土門拳氏の作品も一部紹介します。



- 日 時** 平成25年11月6日(水)～12月15日(日)
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
※毎週月曜休館日
- 会 場** 予科練平和記念館 20世紀ホール
茨城県稲敷郡阿見町大字廻戸5-1
- 入館料** 無料(予科練平和記念館 常設展示は観覧料が必要です)
- 連絡先** 予科練平和記念館
TEL:029-891-3344/FAX:029-888-2470

予科練平和記念館の情報は[こちら](#)



【早田貫一(はやたかんいち)氏プロフィール】

大正10(1921)年、佐賀県生まれ。

昭和18(1943)年、学徒出陣し、満州(現・中国東北部)へ。

昭和20(1945)年、シベリアに抑留される。

昭和23(1948)年、復員。帰国後、シベリア抑留をテーマに多くの水彩画を描く。

平成23(2011)年、死去。

※画像は《国境を越えてシベリアへ》早田貫一



【小柳次一(こやなぎつぐいち)氏プロフィール】

明治40(1907)年、福岡県生まれ。

昭和12(1937)年、名取洋之助の日本工房に入社。同社から上海派遣軍特務部報道班の嘱託となる。以後、終戦まで陸軍専属のカメラマンとして撮影を続ける。

戦後は『週刊サンニクス』やINP通信などで報道カメラマンとして活躍。

平成6(1994)年、死去。

※画像は《それぞれの故郷の方角に向かって最後の別れを告げる義烈空挺隊員》小柳次一

平和祈念展 in 甲府

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

- 日 時** 平成25年12月21日(土)～12月25日(水)
午前9時30分～午後6時30分
(初日は午前12時から、最終日は午後5時まで)
- 会 場** 山梨県立図書館 1階 イベントスペース
山梨県甲府市北口2-8-1
- 入場料** 無料
- 後 援** 山梨県／山梨県教育委員会／甲府市／甲府市教育委員会
- 出展数** 約170点



平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。
「平和祈念展 in 甲府」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真のほか、山梨県からも送出した満蒙開拓青少年義勇軍に関する写真を紹介します。

主な展示内容

- 「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など
- 「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など
- 「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

満州に渡った少年たち～満蒙開拓青少年義勇軍

昭和13（1938）年以降、全国から集められた満15～18歳の少年たちが茨城県にある内原訓練所で農業実習と軍事教練を受け、満州（現・中国東北部）に渡りました。

山梨県でも、満蒙開拓青少年義勇軍の第一次入植から数えて1,000人を超える少年たちを送出しました。

特別展示では、当資料館が所蔵する満蒙開拓青少年義勇軍に関する写真を紹介します。

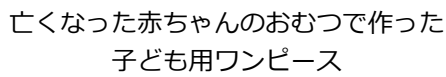
※右の写真は《渡満壮行会》



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



「平和祈念フォーラム in 新宿」テレビ放送

～戦争体験者から高校生へ～

平和祈念展示資料館では、11月9日(土)に新宿住友ビル地下1階住友ホールで行われた「平和祈念フォーラム in 新宿～戦争体験者から高校生へ～」の様子を番組としてテレビ放送します。

放送日時 平成25年12月1日(日) 午後8時～8時30分

放送局 テレビ埼玉、千葉テレビ放送

出演者 司会

波多江良一(テレビ埼玉アナウンサー)

西田朱里(千葉テレビ放送アナウンサー)

高校

浦和実業学園高等学校 演劇部

東京農業大学付属第三高等学校 演劇部

さいたま市立大宮北高等学校 放送部

専修大学松戸高等学校 演劇部

千葉県立松戸高等学校 演劇部

体験者

牛窪剛(戦後強制抑留体験者)

田中信子(海外からの引揚体験者)

解説

増田弘(平和記念展示資料館名誉館長)



「平和祈念フォーラム in 新宿」では、「証言で知る戦後の労苦体験」として、演劇部や放送部の現役高校生が、戦後の労苦体験を綴った手記の朗読や、体験者との意見交換を行いました。

(番組は30分に編集して放送します。)

平和祈念展 in 鳥取

次の世代へ、あなたの街から、語り継ぐ。

さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を、次の世代へと語り継いでいくために、当時の人々が実際に使っていたものや模型を展示します。

日 時 平成26年1月22日(水)～1月26日(日)
午前9時30分～午後6時30分
(最終日は午後5時まで)

会 場 とりぎん文化会館 1階 展示室
鳥取県鳥取市尚徳町101-5

入場料 無料

後 援 鳥取県／鳥取県教育委員会／鳥取市／鳥取市教育委員会

出展数 約160点

平和祈念展示資料館（東京・新宿）では、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々が体験された苦しくつらい記憶を語り継いでいくために、館内外で企画展やフォーラムなどのさまざまな事業を行っています。

「平和祈念展 in 鳥取」では、当資料館が所蔵する体験者の労苦を物語る代表的な資料や写真などを展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ちゃんのおむつで作った
子ども用ワンピース

